

南塘だより

2025年（令和7年）7月29日



病院長からの一言

経営危機を乗り越えるために



弘前大学医学部
附属病院長 袴田 健一

最近、国立大学病院の経営が厳しいとの報道を見聞きする機会が増えました。3分の2の大学病院が数億円規模以上の赤字経営に陥っています。物価高騰と人件費上昇に見合う診療報酬収入が得られていないことが背景です。幸い当院は、全職員の惜しみない協力に加え、補助金獲得や償還金の少ない時期に重なったことなども相まって、令和6年度は辛うじて収支均衡を維持することができましたが、令和7年度はかつてないほど厳しい経営状況が想定されています。大学本体も厳しい財務状況のため、病院の赤字を補填する余力はありません。

では、私たちに何ができるか。答えはたった一つ。各診療部門・診療科が持ちうる医療技術と与え

られた医療資源を最大限有効活用して、できるだけ多くの患者さんに最高の医療を届けることです。残念ながら、医療資源の乏しい私たちの地域では、適正な専門医療を受けていない、あるいは知る機会のない患者さんが巷に溢れています。特定機能病院として、一人でも多くのこのような患者さんに良質な専門医療を届ける、さらには最新の個別化医療や高度先進医療を提供する、すなわち私たちのミッションを果たすことで、経営改善を図る以外に方法はありません。

令和7年度は、一般病床の目標稼働率を92%、病院全体の目標稼働率を86%に設定させていただきました。今年度は、診療機能強化と労務負担軽減の両立を図る

ために各職種で大幅な人員増を図りましたが、これからも安心・安全な医療をより効率的に提供するための業務改善は欠かせません。それぞれの部門・診療科で、どうすれば本院が誇る高質な専門診療を一人でも多くの患者さんに届けられるかを、職種の垣根を超えて議論いただき、経営改善に繋がっていただければ幸いです。

さて、令和7年度弘前大学表彰を脳卒中・心臓病等総合支援センターが受賞されました。おめでとうございます。職員が大学病院から外に飛び出して、脳卒中や心臓病を持つ患者さんやご家族、その他県民を対象に、多岐にわたる活動を精力的に展開したことが評価されての受賞です。同様の試みとして、昨年来、特徴的な診療機能を有する多職種・多診療科連携組織を院内措置のセンターとして整備してまいりました。新たに肥満症・栄養治療センター、成人先天性心疾患センター、足のきず治療センターの設置が決まっています。今後、これらのセンターをはじめとして、各診療部門・診療科が有する高い診療機能について内外に向けたブランディング活動を展開し、特定機能病院としての地域社会貢献に繋がってまいりたいと思います。

各診療科等の紹介

【医療技術部】



よる運営会議のほか、部門長会議、合同の勉強会、相互見学を開催するほか、昨年度からは入職者研修会と懇親会も開始され、新人の早い段階での相互理解と部門間の協力体制を構築することを目指しています。さらに今年度は中堅スタッフを主体とした教育研修も予定しております。医療技術部は今年度、全体で11名の増員が認められました。袴田病院長をはじめ幹部の皆様にご感謝するとともに、病院に貢献できるビジョンをしっかりと掲げ、実現すべく進めております。具体的には診療前検査から治療・早期回復に向けた効率化の取り組みのほか、診療報酬の増収につながる業務改善など積極的に進めていきたいと考えています。医療の高度化・多様化が進む現代において、患者さんに最善の医療を提供するためには、各専門職の連携がこれまで以上に求められています。私たち医療技術部は、そうしたニーズに応えるべく、多職種が連携しながら、診療の質向上とチーム医療の推進に取り組んでいます。今後もそれぞれの専門職が互いに尊重し合いながら、質の高い医療サービスを提供できるよう努力を重ねてまいりたいと思います。

令和6年度診療奨励賞を受賞（診療技術賞）



そこで当院では2021年、青森県内で唯一の「がん生殖相談外来」を開設し、県内のがん拠点病院と連携し、診療の流れを円滑にすることで、治療開始を遅らせることなく妊孕性温存の支援が可能となりました。当院では、精子・卵子・受精卵・卵巣組織の凍結保存を含む、すべての妊孕性温存療法に対応しています。また、公的助成制度やその後の生殖補助治療等に関する情報提供も多職種で包括的に行っています。遠方の患者さんにはがん相談支援ネットワークを活用し、地域の医療機関とも連携しながら支援しています。これまでに造血器腫瘍や乳がん、精巣腫瘍など多くの患者さんを支援しており、中には、がん治療後に妊娠・出産された方もいらっしゃいます。がん治療前の妊孕性温存は治療後のQOL向上にもつながっています。

今後も、小児・AYA世代の患者さんやご家族が「がんと診断さ

れても未来をあきらめない」選択ができるよう、支援体制の充実に努めてまいります。あらためて、この活動を支えてくださっているすべての皆さまのご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

(周産母子センター 准教授 福原理恵)

このたびは、診療奨励賞を賜り、誠にありがとうございました。ご選考いただいた先生方、そして日頃より活動を支えてくださっているすべての皆さまに心より御礼申し上げます。

小児およびAYA(思春期・若年成人)世代のがん患者さんは、治療により将来的な妊娠や出産が難しくなる可能性があります。生殖医療の進歩により、治療前に妊孕性を温存する「がん生殖医療」の重要性が高まっています。一方で、診断直後にその選択を迫られる患者さんにとっては、精神的・身体的負担が大きく、専門的かつ迅速な支援が欠かせません。

この度は、弘前大学医学部附属病院診療奨励賞心のふれあい賞を頂き、誠にありがとうございました。この活動に関わってくださった全てのスタッフ、そして患者さんとそのご家族に心から感謝を申し上げます。

私がこの取り組みを始めた理由は、認知症の患者さんが日々感じる不安や混乱を少しでも和らげ、安心して過ごせる環境を提供したいという強い思いからでした。ケアマップは、手触りの良い毛糸で筒状に編まれた物で、かわいい犬や果物などの患者さんの好みに合わせた編みぐるみなどが付いています。ケアマップの中に手を入れる事

令和6年度診療奨励賞を受賞（心のふれあい賞）



ケアマップの作成はボランティアが担っています。研修会でケアマップ作成のボランティアを募集し、継続して作成できる体制を作り、患者さんとそのご家族のために、さらなる安心と安楽を提供できるよう努力を続けてまいります。

(入院棟東8階 葛西愛子)

5月初旬に開催された「DPCと病院経営」と題する説明会に参加しました。「病院経営とは焼き肉屋である」というサブタイトルに、多くの参加者が興味を持たれたことと思います。大学病院の経営は、高級焼肉店ではなく、焼肉食べ放題店であるという趣旨ですが、改めて考えてみると納得できます。

医療費や人件費は診療報酬の中から支出されます。しかし、DPCに基づく診療報酬点数は疾患や治療内容によって細かく規定されており、濃厚な診療を行うほど、また長期入院となるほど病院

経営は苦しくなります。高級焼肉店の場合、顧客は好きな肉を自由に選び、時間の制約なく楽しむことができますが、焼肉食べ放題店ではサービス料金や制限時間が設定されています。病院の経営はまさにこの仕組みに似ており、限られた医療資源の中で最大限の医療サービスを提供しなければなりません。

それでは、焼肉食べ放題店で顧客満足度を高めるためには、どのような工夫が必要でしょうか。最近焼肉食べ放題店を利用していないため、AIに尋ねてみました。その回答は、①質の高い肉の提

先憂後楽

患者サービスの向上を目指して



病院長補佐 青木昌彦

供、②焼き方の工夫、③豊富なサイドメニュー、④食べる順番の提案、⑤快適な店内環境、⑥適切な価格設定、⑦サービスの向上でした。確かに、麺類や寿司、デザート、飲み物などが充実し、低価格で提供されれば、「また来たい」と思わせる店舗になるでしょう。この考え方を病院に当てはめるとどうなるでしょう。AIの回答は次の通り。①質の高い医療サービスの提供、②治療や診察のしやすさ、③付随サービスの充実、④診療の流れの工夫、⑤快適な院内環境、⑥適切な費用の説明、⑦スタッフ対応とサービスの向上。こ

れらを医療現場に取り入れることで、患者さんの安心感や満足度を高めることができるかもしれません。

家に帰り、大学病院を焼肉店に例えるなら「高級焼肉店」か「焼肉食べ放題店」かを、妻と娘に尋ねてみました。返ってきた答えは、「大学病院は紹介状がないと診てもらえないし、予約も必要だし、高度な医療機器が揃っているから、高級焼肉店に決まっているでしょ。」というものでした。一般人の認識と病院経営の視点には、まだまだ大きな隔たりがあるようです。

Hirosaki University Hospital Bulletin

NANTOUDAYORI

医療技術部新入職員研修会



医療技術部は平成25年4月に新設されました。現在174名で構成されており、臨床検査技師、診療放射線技師、作業・理学療法士、臨床工学技士等の職員を一元的に組織し、病院運営、医療支援及び医療サービスの向上に資する業務を行っています。

令和6年度から開催している医療技術部新入職員研修会は今年で2回目を迎え、今年度は4月16日(水)に4部門の新入職員14名で開催しました。医療技術部の組織概要や各部門の紹介はじめ、各部門の先輩職員から職場紹介が行われ、コンプライアンス研修やグループディスカッション、メンタルヘルスセミナー等、多岐にわたる内容で開催されています。中でも多職種連携のグループディスカッションでは、「医療現場における報連相」、「チーム医療の重要性」等、5つのテーマから1つ選択し時間内に話し合った結果をスライド1枚3分でプレゼンを行いました。その日初めて出会った職員どうしとは思えないくらい、積極的に議論していたのが

印象的で、コミュニケーションスキルや協調性を兼ね備えた人材であると認識できました。神経科精神科の坂本由唯先生(神経科精神科講師)によるメンタルヘルスセミナーでは「大学病院サバイバル術」と題し、悩むことの多い新人職員やマネジメント担当者に向けて、自身のメンタルヘルスをいかにして維持するか、回復させるかなど丁寧に講演いただきました。明日から始められるアサーションスキルなど、心を軽くするヒントを見つけられたような気がします。

医療技術部では新入職員研修会や各部門の相互見学等、様々な行事を通じて職員間のコミュニケーションを図り人材育成を進めています。

最後になりますが、引き続き各診療科、各診療部門と連携しながら医療サービスの向上に努めて参りますので、何卒ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(放射線部門 診療放射線技師 成田将崇)

看護の日



5月12日は「看護の日」です。フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、看護の心や助け合いの気持ちを大切にする日として制定されました。看護部では、「看護の日」に合わせて外来待合ホールに生花を展示しました。色とりどりの花々とやさしい香りに包まれた空間では、足を止めて微笑む患者さんの姿も見られ、私たちの心も温まりました。また、入院患者さんにはメッセージカードをお配りし、嬉しそうに受け取ってくださる姿が印象的でした。日頃お世話になっている他職種の方々へメッセージカードを贈った病棟もあり、感謝の気持ちを伝え合う温かな交流が生まれました。こうしたひとときを通

じて、忙しい日々の合間にも患者さんの笑顔や仲間の優しさにふれ、「誰かの力になりたい」という初心を改めて思い出すことができました。この「看護の日」が、看護の原点を再確認し、互いに思いやる心を育む一日となったことを嬉しく思います。ところで、「看護の日」には公式キャラクターの「かんごちゃん」にご当地バージョンがあるのはご存じですか?青森県はリンゴをかぶった愛らしい姿で登場しています。ぜひ確認してみてください。

(入院棟東7階 小山内愁子)



このたび、有限会社リンゴミュージック様の御厚意により、ご当地アイドルのりんご娘とライ

令和6年度診療奨励賞を受賞(心のふれあい賞) 言葉の壁を乗り越えろ!~タイ帰国までの23日間の軌跡~

この度、令和6年度診療奨励賞心のふれあい賞を頂き、誠にありがとうございます。この場をお借りし、選考委員の諸先生方ならびに関係者の皆様に心よりお礼を申し上げます。

今回、私たちはタイからのインバウンド観光客の方がくも膜下出血を発症した事例を経験しました。患者家族ともに日本語の理解が困難で意識障害や構音障害により自動翻訳機が活用できない中、コミュニケーション手段を模索しつつ意向の把握や症状への早期対応に努め、患者家族が希望する最

短入院日数:23日でタイへの帰国を果たすことができた事例になります。そのプロセスとしてSCUでは①コミュニケーション手段の確立②意識レベルや神経所見の観察③フィジカルイグザミネーションを用いた症状や苦痛の把握④患者さんや妻の意向の把握と尊重⑤リハビリセラピストと協働での離床訓練を行い、第二病棟6階では①患者家族の精神的安寧の維持②転院・帰国の調整を図り、看護師長は①安全保障輸出管理の申請②デジタル環境の調整等を行いました。各病期ともにシー

ムレスかつ多職種協働で介入できたことが本事例を成功に導いた要因だと考えます。

看護は「これが正解」と言い切ることが難しい分野ですが、受賞により提供した看護の答え合わせをしていただいたようにも感じます。いただいた賞を糧に日々の看護に邁進するとともに、今後も増えるであろうインバウンドの方が入院された際には、本事例と同様に多職種協働で患者家族に寄り添った看護の提供に努めたいと思います。

(看護部 SCU 福岡幸子)

台湾合同RICEトレーニングプログラムを終えて



2023年3月に台湾の高雄医科大学、台北医科大学、長康記念病院、国家災害防救技センター、厚生労働省にあたる衛生福利部を訪問し、被ばく医療を含む災害対応について意見交換、施設見学をする機会があり、台北医科大学と長康記念病院では弘前大学が東日本大震災と福島第一原子力発電所での事故後に行った活動について講演する機会をいただきました。その後長康記念病院救急医の林志泉先生を通じて長康記念病院とのMOU締結に至り、弘大附属病院職員が訪問して研修、また学生の交換プログラムが行われるまでになりました。林先生は中毒の専門家であり、台湾DMATやHAZMAT(化学、細菌、放射線といった特殊災害対応医療チーム)の設立運営にも台湾で関わってきた方です。種々の交流プログラム(日台韓被ばく医療シンポジウム、2024年7月など)を通じて、被ばく医療もアジア圏原発所有国で協力体制が必要との共通認識に至りました。まずは台湾と日本(弘前)で共通の訓練プログラムを作ろうということになり、名称をRICE(Radiation Injury Case Empowerment(RICE) Training Course)として、基本コンセプト、テキストとコースプログラム、を作成中です。オンラインで林先生



と花田がテキスト、フローチャートなどを作っています。2024年6月に台湾で開催された国際救急医学会や、花田と病院職員が同年11月に長康記念病院と台北科大学付属病院を訪問した際に、直接討論を行って詳細を検討してきました。

今回は台北で被ばく医療を担うため電力会社と契約を結んでいるTaipei Veterans General Hospital(台北荣民総医院)から救急医と放射線科医(台湾では、放射線に関係する医師は緊急被ばく医療に関与することが義務付けられており、訓練などに参加する)8名、台湾で被ばく医療体制を構築している台湾大学鄭銘泰先生、林先生と郭靖怡先生(長康記念病院救急医)が来弘され、RICEコースのテキストから、訓練アルゴリズムまでの全部を全員でプレゼンしあいながら議論し、ブラッシュアップを行いました。2日目の午後にその時点でのアルゴリズムに沿って、放射線汚染患者診療の模擬訓練を行いました。現在Google共有ファイルで最終案をまとめております。基本的にHospital Incident Command Systemを用いた考え方を取り入れてのコースになっており、放射線災害



を中心にその他のハザード対応も可能な基本理念に基づいています。国際交流を推進している袴田病院長の方針もあり、病院長と国際化担当 病院長補佐の斉藤敦志教授も一緒に昼食での会食の機会を用意していただきました。郷土食を楽しんでいただき、加えて病院長からアップルパイをごちそうになりました。今回の様な機会を作っていただきセッティングしていただいた皆様に感謝いたします。4月初めということで、桜の季節でしたが、満開とはいかないものの咲き始めは楽しんでいただくことができました。林先生には最終日に中毒コース(主にトキシドローム)の講義とシミュレーショントレーニングを医学部5-6年生にやっていただき、むしろ救命医師の刺激となりました。今回の食事会のセッティングを含め、お世話いただいた方々に感謝いたします。(高度救命救急センター

センター長 花田裕之)



ご当地アイドルによる小児医療センター訪問とミニライブ開催

スボールのみなさんが本院を訪問し、患者さんと職員に元気と勇気を届けてくれました。

3月にはりんご娘のみなさんが小児医療センターを訪問し、各病室を回り子供達一人一人にサイン入りCDやオリジナルTシャツ等のグッズをプレゼントし、一緒に写真を撮るなど、闘病中の子供達を励ましてくれました。また、4月に開催するリンクステーションホールでの25周年記念ライブの配信にも招待していただき、当日、子供達はプレイルームに集まりモニターの前でステージで歌うりんご娘を応援しました。

5月にはライスポールと多田慎也さんによるミニライブ『初夏のスペシャルコンサート』を開催しました。このライブは“入院患者さんを励まし元気になってもらいたい、そしてそれを支える病院職員に感謝の気持ちを伝えたい”と

の思いから実現したもので、入院患者さんのみならず多数の職員も観覧に訪れ、ライスポールの歌とダンス、そして地元言葉での軽

楽しい一時を過ごすことができました。(医事課)



【編集後記】

南塘だより第118号をお届けします。

日に日に日差しが強まり、夏の気配が感じられる季節となってまいりました。そろそろ梅雨入りの便りも気になる頃ですが、晴れた日の青空には初夏の訪れが感じられます。

夏の楽しみといえば、各地で行われる夏祭りや花火大会など、多くの方が心待ちにされていることと思います。今年も季節の行事やご家族とのひとときが、皆さまにとってよい思い出となりますようお願いいたします。季節の変わり目は、体調を崩しやすい時期でもございます。どうぞお身体に十分ご留意のうえ、健やかに夏をお迎えください。

病院広報委員会 委員 小玉寛健

弘前大学医学部附属病院へのご寄附、 心より御礼申し上げます

お名前の掲載をご承諾いただいた方に限り、ここにご芳名を掲載させていただきます。今号では、令和7年2月から令和7年4月末までの間にご入金を確認させていただきました方を公表させていただきます。(経理調達課)

【診療科等 寄附者ご芳名】

○高橋 弘一様 匿名希望 1名

※掲載の同意をいただいた方以外は、匿名希望とさせていただきます。